福地温泉map

来福の森

城跡（元とらや、現桜荘）

元とらやの主人が作った個人のお城。
今は天守閣が降ろされ、一時期
旅館の別荘として使用されていたが、
現在は福地せんべい（小水力発電所）
の事務所として使われている。

お祭り広場

やぐら、いろり、ベンチがある。
8月にはビアガーデンなどの
音楽イベントも開催していた。
（今は中止中）

サンショウの木の若芽

最高級のサンショウ。有名
実と粉末に加工して、主に都へ
出荷される。
土地柄で果樹農園になっている
ところは、だいたいサンショウらしい。

福地公民館

集会場、温泉、
食事処、化石館が
併設されている。
化石館では三葉虫など
海底の化石がみれる。

石動神社（いしどう）

石の祠がレーリ。

福地せんべい

小水力発電所
山里物語のスタート。

これから関く森

別マップ「森のひらき方マップ」
参照

ホコラ

風の神と火の神がいる。
崖のような坂道を通って行く。
福地の人たちは、
担当の人が年明けに
お参りに来る。
他の場所に
別の神もいるらしい。

孫九郎 音泉（オンセン）浴

貴重非公開のスピーカー
「パラゴン」が設置されており
風呂上がりに パラゴンから流れる
音楽をたのしめる

孫九郎 別棟 寒天風呂

屋根が杉皮葺き
ヒノキの脱衣所
温泉は源泉100%

街並みの木々

福地地区は、松の木を植えて
木を増やそうという活動が
20年近く続けられている。
かなり増えてきたみたい。
冬…街並みライトアップ
毎年、新緑（5月末～6月）と
紅葉（10中～11月）の季節に
街並みの木のライトアップを
行っている。

双葉の木

唯一の居酒屋

舎湯（やどりや）

共有ロビーとしての足湯
高山の清見から移築した古民家
管理は、1つの旅館が
1週間の当番制で行い、
いろりの火の番、足湯の温度
管理、そうじをする。
*あっなべ
今年の1月～3月の8のつく日に
宿の主人となべを囲う
あっなべが再開

朝市

6:30～あいてる。野菜や土産が買える。
中は昭和のポスターやレコードが飾られている。

福地山 登山口

登り2時間半、下り1時間半
4時間コース
展望まで行くと
北アルプスが全部みえる。
福地の人たちは、毎年
草刈りのために登るそう。

青だる（冬期のみ）

冬期にある氷のライトアップ。
2週間だけ青だるの表現がみれる。
3日間だけしまいを行う。
めっちゃ寒いらしい。

道沿いの街灯（2種類）

・小さい街灯

石で木のような
木の一部を
くり抜いて
電球が入っている。
ソーラーパネルが
つっているものも
あった。

・大きい街灯（看板）

正面に「福地温泉」
側面に旅館名や施設名
が書かれている。
坂道を通る際に
道の両側にある
異なる位置の看板同士が
同じ高さに見えるように
脚の長さが調整されている。

福地発電所

発電所から100mくらい上から
落水して発電する。
23年8月の発電量は
84,140[kWh]
（温泉街の電気は
十分まかなえる発電量）
山里物語が稼働する。

N